



2022年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月3日

上場会社名 西尾レントオール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9699 URL <https://www.nishio-rent.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 公志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社管理部門管掌 兼 社長室長 (氏名) 四元 一夫 TEL 06 (6251) 7302
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第3四半期の連結業績（2021年10月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	127,030	6.9	10,643	13.8	10,493	13.9	6,796	16.1
2021年9月期第3四半期	118,827	2.8	9,354	△6.8	9,214	△5.2	5,851	0.6

(注) 包括利益 2022年9月期第3四半期 7,480百万円 (6.9%) 2021年9月期第3四半期 6,994百万円 (39.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第3四半期	244.88	244.75
2021年9月期第3四半期	210.87	210.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第3四半期	261,174	113,855	42.7
2021年9月期	248,933	110,788	43.1

(参考) 自己資本 2022年9月期第3四半期 111,421百万円 2021年9月期 107,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	85.00	85.00
2022年9月期	—	0.00	—		
2022年9月期（予想）				98.00	98.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,030	5.1	14,510	5.8	13,840	2.9	9,000	1.9	324.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年9月期3Q	28,391,464株	2021年9月期	28,391,464株
② 期末自己株式数	2022年9月期3Q	636,916株	2021年9月期	638,432株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年9月期3Q	27,753,967株	2021年9月期3Q	27,749,698株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等により実際の業績が記載の金額と大幅に異なる可能性がありますのでご承知おきください。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年10月1日から2022年6月30日)におけるわが国経済は、海外需要の回復に伴い経済活動は持ち直しの動きが見られたものの、円安や資源価格の高騰、ウクライナ情勢の影響もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

建設業界においては、各地の交通インフラの整備工事が堅調な他、都市再開発工事や物流倉庫等の新設工事への取り組みが堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループ(当社及び連結子会社)は、中期経営計画“Vision 2023”に基づき、ロジスティクス・イノベーションを推進し、一部の地域で社内の物流システムやオンラインレンタルの実証実験をスタートした他、社会課題の解決に貢献できるソリューションの提供に向けた木造モジュール事業では、社用設備として6箇所設置し、ノウハウの蓄積に取り組んでまいりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響として、イベントの中止や延期が続いておりましたが、音楽イベントやスポーツイベントの他、展示会等でも再開の動きが広がり、感染症対策を行った上での受注活動を進めております。

その結果、連結売上高は127,030百万円(前年同四半期比106.9%)、営業利益10,643百万円(同113.8%)、経常利益10,493百万円(同113.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益6,796百万円(同116.1%)となりました。また、EBITDAは36,619百万円(同107.0%)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

[レンタル関連事業]

道路・土木関連分野では、高速道路の集中工事を中心とした交通インフラの整備工事の需要が継続しました。また、クラウドツールへの関心が高まりつつあるなか、通信関連商品の売上が下支えとなり、道路改良工事等でのICT対応機械の稼働が高まりました。

建築・設備関連分野では、高速道路の橋梁補修点検工事や物流倉庫の新設工事により、高所作業車が順調に売上を伸ばしました。また、都市再開発工事の他、バイオマス発電所の新設工事や定修工事の売上も引き続き堅調に確保しました。

イベント分野では、再開されたイベントやワクチン接種会場への備品レンタルを受注した他、建築現場の課題を解決する技術を発信する場として当社が主催した「新しい建機展」では、通信・映像技術を駆使した人流計測や3Dウォークスルーの実証実験も行い、今後の展開に向けノウハウの蓄積に努めました。

その結果、売上高は122,534百万円(前年同四半期比107.8%)、営業利益10,255百万円(同116.6%)となりました。

[その他]

海外製建機の販売による売上を確保し、売上高は4,495百万円(前年同四半期比86.3%)、営業利益342百万円(同75.8%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、261,174百万円と、対前連結会計年度末比で104.9%、12,240百万円の増加となりました。主な要因は現金及び預金の増加5,266百万円、商品及び製品の増加1,311百万円、流動資産・その他に含まれる設備立替金の増加1,686百万円、貸与資産の増加3,484百万円及び有形固定資産・その他に含まれる社用資産建設仮勘定の増加1,036百万円、並びに受取手形、売掛金及び契約資産の減少1,420百万円であります。

負債合計は、147,319百万円と、対前連結会計年度末比で106.6%、9,173百万円の増加となりました。主な要因は短期借入金の増加1,081百万円、流動負債・その他に含まれる未払金の増加1,198百万円及び長期借入金の増加8,630百万円、並びに未払法人税等の減少1,540百万円であります。

純資産合計は、113,855百万円と、対前連結会計年度末比で102.8%、3,067百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月10日に公表しました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,592	52,858
受取手形及び売掛金	41,628	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	40,208
商品及び製品	1,939	3,250
仕掛品	1,568	1,017
原材料及び貯蔵品	1,372	1,387
その他	8,305	10,688
貸倒引当金	△713	△865
流動資産合計	101,693	108,546
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	79,707	83,191
土地	34,505	35,269
その他（純額）	21,190	22,588
有形固定資産合計	135,403	141,048
無形固定資産		
のれん	2,018	1,680
その他	1,994	1,906
無形固定資産合計	4,012	3,587
投資その他の資産		
その他	8,134	8,286
貸倒引当金	△310	△294
投資その他の資産合計	7,823	7,991
固定資産合計	147,240	152,627
資産合計	248,933	261,174
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,308	22,097
短期借入金	4,472	5,554
1年内返済予定の長期借入金	7,235	8,173
1年内償還予定の社債	150	150
リース債務	13,746	13,941
未払法人税等	2,712	1,172
賞与引当金	2,316	1,572
役員賞与引当金	139	107
その他	21,156	22,623
流動負債合計	73,239	75,392

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
固定負債		
社債	975	900
長期借入金	32,162	39,854
リース債務	29,024	28,400
役員退職慰労引当金	250	259
退職給付に係る負債	784	831
資産除去債務	980	996
その他	729	684
固定負債合計	64,906	71,927
負債合計	138,145	147,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	9,085	8,344
利益剰余金	91,704	96,141
自己株式	△1,907	△1,903
株主資本合計	106,983	110,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	244
繰延ヘッジ損益	20	△15
為替換算調整勘定	△97	508
その他の包括利益累計額合計	205	737
新株予約権	30	16
非支配株主持分	3,569	2,417
純資産合計	110,788	113,855
負債純資産合計	248,933	261,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
売上高	118,827	127,030
売上原価	71,601	76,543
売上総利益	47,225	50,486
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	54	127
給料及び賞与	15,050	15,460
賞与引当金繰入額	1,371	1,477
役員賞与引当金繰入額	105	108
退職給付費用	409	460
役員退職慰労引当金繰入額	24	25
その他	20,854	22,183
販売費及び一般管理費合計	37,871	39,843
営業利益	9,354	10,643
営業外収益		
受取利息	41	48
受取配当金	33	32
為替差益	20	180
その他	625	474
営業外収益合計	721	736
営業外費用		
支払利息	745	775
その他	115	110
営業外費用合計	861	886
経常利益	9,214	10,493
特別利益		
固定資産売却益	70	22
投資有価証券売却益	—	24
特別利益合計	70	46
特別損失		
固定資産除売却損	57	65
特別損失合計	57	65
税金等調整前四半期純利益	9,227	10,475
法人税、住民税及び事業税	2,878	3,218
法人税等調整額	295	326
法人税等合計	3,174	3,544
四半期純利益	6,052	6,930
非支配株主に帰属する四半期純利益	201	134
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,851	6,796

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	6,052	6,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△38
繰延ヘッジ損益	8	△38
為替換算調整勘定	922	626
その他の包括利益合計	941	549
四半期包括利益	6,994	7,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,729	7,328
非支配株主に係る四半期包括利益	264	151

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大が会計上の見積りに与える影響)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大が会計上の見積りに与える影響)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告 セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	113,617	5,209	118,827	—	118,827
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	179	212	△212	—
計	113,650	5,389	119,039	△212	118,827
セグメント利益	8,794	451	9,246	108	9,354

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額108百万円には、セグメント間取引消去108百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告 セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	122,534	4,495	127,030	—	127,030
セグメント間の内部売上高 又は振替高	534	778	1,313	△1,313	—
計	123,069	5,274	128,343	△1,313	127,030
セグメント利益	10,255	342	10,597	46	10,643

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額46百万円には、セグメント間取引消去46百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。